

教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

ニューズ・レター No.176

JSiSE

発行日 2012年1月31日
発行所 教育システム情報学会
発行者 前迫 孝憲

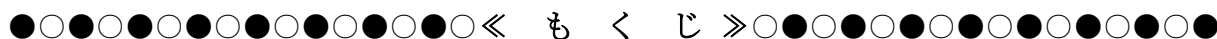
〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号
TEL06-6324-7767 FAX06-6324-7767
<http://www.jsise.org/>
E-mail : secretariat@jsise.org

『JSiSE2011 学生研究発表会』開催日程

教育システム情報学会
渉外・活性化委員会

平素は、教育システム情報学会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。
さて、教育システム情報学会 渉外・活性化委員会では、恒例の「学生研究発表会」
を下記の通り開催いたします。皆様、ぜひご参加のほどよろしくお願いいたします。

開催地区(共催支部)	開催都市・開催場所	開催日
北海道：	札幌 千歳科学技術大学	3月14日(水)
関東：	東京 八王子学園都市センター	3月9日(金)
北信越：	長野 信州大学 長野(工学)キャンパス	3月9日(金)
東海(東海支部)	名古屋 名城大学 名駅サライト MSAT	3月13日(火)
関西(関西支部)	大阪 関西学院大学 大阪梅田キャンパス	3月10日(土)
中国(中国支部)	岡山 岡山大学	3月5日(月)
四国：	高松 香川大学 工学部	3月8日(木)
九州：	福岡 九州工業大学 情報工学部	3月2日(金)
沖縄：	那覇 琉球大学 総合情報処理センター	3月2日(金)



2011 年度学生研究発表会開催日程	1
2011 年度第6回研究会プログラム	2-4
2011 年度特集論文研究会プログラム	5-7
2012 年度第1回研究会発表募集	8-9
2011 年度第5回研究会開催報告	10-11
2012 年度研究会開催予定	12
論文特集 Call For Paper	13
英文誌 Call For Paper	14
国際会議のご案内	15-16
新入会員のご紹介・事務局より	17
各大学教員公募のお知らせ	18
2012 年度第37回全国大会のご案内	19

2011年度 JSiSE 第6回研究会 プログラム

開催担当 松永公廣，西野和典，西端律子，鷹岡亮（研究会委員会）
会場担当 中西通雄，安留誠吾，藤井研一，深海悟（大阪工業大学）

◆テーマ◆ 情報教育と社会人基礎力／一般

- 開催日：2012年3月17日（土）
- 開催場所：大阪工業大学 枚方キャンパス（大阪府枚方市北山1-79-1）
- 共催：教育システム情報学会関西支部
- 問い合わせ先：西端律子（畿央大学） r.nishibata@kio.ac.jp

大学在学中に社会人基礎力の育成が求められるようになりました。社会人基礎力（アクション、シンキング、チームワーク）には、情報教育によって育成される力も少なくありません。また、この社会人基礎力は、大学での教育だけでなく、初等・中等教育を含めた段階からの育成が必要です。再び就職氷河期を迎えている今、初等教育から高等教育に亘る情報教育の中で、社会人基礎力育成およびICT活用能力の育成の観点から、情報教育のカリキュラム・方法・実践をテーマに研究会を開催することは意義深いと考えます。多くの方々のご参加をお待ちしております。なお、1件につき発表時間20分、質疑応答5分の予定です。

【9:30～受付】

【10:00 開会の挨拶（於：A会場）】

【セッション6A1 10:15-11:55】

[10:15-10:40]

1. 実例から見た韓国のデジタル教科書活用授業の様子
○孔泳泰（晋州教育大学）

[10:40-11:05]

2. 臨床検査技師養成校情報科学教育においてスマートフォン、iPadを用いた医療用アプリをどのように教育すべきか？
○神崎秀嗣（京都大学・京都保健衛生専門学校）

[11:05-11:30]

3. 体験学習における知識増幅を目的とした体験履歴比較支援
○村瀬拓弥（電気通信大学），柏原昭博（電気通信大学）

[11:30-11:55]

4. インクルーシブデザイン手法に基づいたユニバーサル・パペット・シアターの予備的評価—大学生の健常者を対象として—
○江草遼平（神戸大学），和田久美子（多摩美術大学），楠房子（多摩美術大学），生田目美紀（筑波技術大学），稲垣成哲（神戸大学），溝口博（東京理科大学）

【セッション6B1 10:15-11:55】

[10:15-10:40]

5. 情報科教育法における協調自律学習を取り入れた授業設計（3）
○高橋朋子（武庫川女子大学），望月紫帆（特定非営利活動法人学習開発研究所）

[10:40-11:05]

6. 講義映像と講義ノートを利用した復習用教育教材システムの構築
岡将史（奈良大学），○正司哲朗（奈良大学）

[11:05-11:30]

7. ブレンド型授業の設計支援システムの開発—授業計画作成機能について—
○清水隼人（岡山理科大学），宮地功（岡山理科大学）

[11:30-11:55]

8. 技術イノベーションを主題とするビデオとオンラインレポートを活用した授業実践の評価
○仲林清（千葉工業大学）

【昼休み 11:55-13:00】

【セッション6 A 2 13:00-14:40】

[13:00-13:25]

9. IT パスポート試験に対応した情報科目の実践
○宮川祐一（仁愛大学）

[13:25-13:50]

10. 情報リテラシー科目「情報処理入門」における復習課題による繰り返し学習
○丹羽量久（長崎大学），藤井美知子（長崎大学）

[13:50-14:15]

11. 全学共通科目でのPC操作法と情報活用力の教育法に向けた考察
○酒井浩二（京都光華女子大学），阿部一晴（京都光華女子大学）

[14:15-14:40]

12. 文科系大学生の仮説検証力向上に向けたシミュレータソフト artisoc の活用
○畑圭輔（株式会社構造計画研究所），森俊勝（株式会社構造計画研究所），池田誠（東洋大学）

【セッション6 B 2 13:00-14:40】

[13:00-13:25]

13. 大学カリキュラムの学修指導にキャリア形成を統合した教育支援システムの構想
○吉根勝美（南山大学），磯本征雄（名古屋女子大学），長谷川信（岐阜聖徳学園大学短期大学部）

[13:25-13:50]

14. モバイル機器によるキャリア教育への支援（2）
○坂口直之（千里金蘭大学），高橋参吉（千里金蘭大学）

[13:50-14:15]

15. 既存授業内における社会人基礎力育成の試行
○神谷勇毅（至学館大学）

[13:50-14:15]

16. 大卒生採用における能力識別に関する一考察
○柳田明子（東北工業株式会社），村上英樹（神戸大学）

【セッション6 C 2 13:00-14:40】

[13:00-13:25]

17. Web3D を用いたプログラムの関数呼出し可視化システムの構築
○韓根鎖（香川大学），香川考司（香川大学）

[13:25-13:50]

18. 類似経験ブログ抽出による就職活動用エピソード想起支援システム
○村田遼（関西大学），小尻智子（関西大学）

[13:50-14:15]

19. 電子討論を導入したグループ学習におけるリーダーの指示の効果
○日下靖之（広島市立大学），川本佳代（広島市立大学）

[14:15-14:40]

20. Moodle の小テスト実行時における確認エディタの試み
○五月女仁子（神奈川大学）

【共通：休憩 14:50-15:00】

【セッション6 A 3 15:00-16:40】

[15:00-15:25]

21. 理数に卓越した児童向けのフローチャートを活用した論理的思考力育成システム
○出口直輝（広島市立大学），川本佳代（広島市立大学）

[15:25-15:50]

22. 人間関係ネットワークを基盤とする作問学習支援システムの開発
○田中頼人（早稲田大学）

[15:50-16:15]

23. iBooks によるデジタル教科書の機能と利用可能性
○篠原 駿（上智大学），上原雅貴（上智大学），田村恭久（上智大学）

[16:15-16:40]

24. スマートフォンとシミュレーションゲームを用いた森林学習支援システムの評価
○井上晴香（神戸大学），楠房子（多摩美術大学），武田義明（神戸大学），山口悦司（神戸大学），
稲垣成哲（神戸大学）

【セッション6 B 3 15:00-16:15】

[15:00-15:25]

25. 学内におけるマルチメディア教材の学習環境構築に関する実験報告
○小柏香穂理（山口大学），浜本義彦（山口大学）

[15:25-15:50]

26. コンピュータ言語科目における協調型 Web 教材システムのモデル化とコンテンツ評価
○池田瑞穂（関西学院大学）

[15:50-16:15]

27. エージェント・ベース・シミュレーションを用いた教員配置問題の分析
○矢野雄大（東京工業大学），神澤篤啓（東京工業大学），山田隆志（東京工業大学），吉川厚（東京
工業大学），寺野隆雄（東京工業大学）

【16:40 閉会の挨拶（於：A会場）】

【懇親会】

開始時刻：17:00

定員：第6回研究会と特集研究会合同で先着50名程度

場所：学内の職員食堂

参加費：4,000円/人

*参加ご希望の方は、E-MAIL：yasutome@is.oit.ac.jp宛に、

件名：懇親会参加

本文：お名前とご所属

の電子メールをお送りください。折り返しこちらから返信致します。

2011年度 JSiSE 特集論文研究会 プログラム

開催担当 松居 辰則, 小西達裕 (研究会委員会・学会誌編集委員会), 林雄介 (学会誌編集委員会)
会場担当 中西通雄, 安留誠吾, 藤井研一, 深海悟 (大阪工業大学)

◆テーマ◆ ICTの高度化による先進的学習支援に向けて -技術と人間の共生を目指して-

- 開催日 : 2012年3月17日(土)
- 開催場所: 大阪工業大学 枚方キャンパス(大阪府枚方市北山1-79-1)
- 共催 : 教育システム情報学会関西支部
- 問い合わせ先: 林 雄介(名古屋大学) hay@icts.nagoya-u.ac.jp

本研究会は「ICTの高度化による先進的学習支援に向けて -技術と人間の共生を目指して-」をテーマにした学会誌特集号(2013年1月発刊号)に向けた特集研究会です。発表時間は、コメント希望発表が1件につき40分(発表20分、質疑応答・コメント20分)、一般発表が1件につき25分(発表20分、質疑応答5分)です。また、本研究会では研究会委員と編集委員会委員が分担して、ご提出いただきました研究会原稿を読ませていただき、発表時に論文執筆に役に立つコメントを提供させていただきます。このコメントを参考にさせていただきます、特集論文にご投稿いただきたいと思いますと考えております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

【9:30～受付】

【セッションSA1 10:00-12:00】

[10:00-10:40]

28. 計算課題遂行時における教師-学習者間の神経科学的検討
○岡本尚子(日本学術振興会/京都大学), 黒田恭史(佛教大学), 前迫孝憲(大阪大学)

[10:40-11:20]

29. ゲームニクスによる人間中心デザインの教員用LMSユーザインタフェースの実装
○井ノ上憲司(長崎大学), 鈴木克明(熊本大学)

[11:20-12:00]

30. 文字または音声による設問の判断への影響-助詞「は」や「を」を含む課題文に対する判断時間からの一検討-
○辻岡圭子(大阪大学), 辻岡千春(日本心理テスト研究所), 前迫孝憲(大阪大学)

【セッションSB1 10:00-12:00】

[10:00-10:40]

31. 習熟度別教材と個別学習メモを用いたWeb学習支援機能の開発
○宇佐美裕康(中部大学), 杉村藍(名古屋女子短期大学), 尾崎正弘, アディカリ・チョレンドラ, 足達義則(中部大学)

[10:40-11:20]

32. 学術本推薦・検索のためのユーザーレビューと目次を用いた学術本の難易度推定手法の提案
○中山祐輝, 南保英孝, 木村春彦(金沢大学)

[11:20-12:00]

33. 自らのコース設定を通じた自律学習を支援する教材推薦手法の一提案
○長谷川理, 山川広人, 小松川浩(千歳科学技術大学)

【セッションSC1 10:00-12:00】

[10:00-10:40]

34. PCN法による時系列自己評価文章の分析
○合田和正（九州情報大学）、峯恒憲（九州大学）

[10:40-11:05]

35. 学習法改善のためのコミュニティにおける学習記録推薦システム
○北田努、小尻智子（関西大学）

[11:20-11:45]

36. 別解作成によるデザインパターン形成の追体験支援システムの開発
○大江洋希、小尻智子（関西大学）、瀬田和久（大阪府立大学）

【昼休み 12:00-13:00】

【セッションSA2 13:00-15:00】

[13:00-13:40]

37. スマートフォン、iPadの医療系養成校への適用の試みと医療系アプリの情報科学教育への導入の試み
○神崎秀嗣（京都大学/京都保健衛生専門学校）

[13:40-14:20]

38. 初心者のケアプランに対する熟達者の指摘コメントの分析による教授方略の抽出
○江藤香（日本工業大学）、岡本敏雄（電気通信大学）

[14:20-15:00]

39. 研修医向けの、診断推論能力向上のためのeラーニング教材の開発と実践
○古谷将、松永信介、稲葉竹俊（東京工科大学）、Brian Heist（University of Pittsburgh）

【セッションSB2 13:00-15:00】

[13:00-13:40]

40. 認知ツールを用いた学習スキルアップのためのFadable Scaffolding手法とその評価
○伊藤真、柏原昭博（電気通信大学）

[13:40-14:20]

41. メタ認知活動としての抽象化操作
○茅島路子（玉川大学）、平嶋宗（広島大学）、東本崇仁（東京理科大学）、溝口理一郎（大阪大学）

[14:20-15:00]

42. 思考外化と知識共創によるメタ認知スキル育成プログラムの開発
○瀬田和久（大阪府立大学）、崔亮、池田満（北陸先端科学技術大学院大学）、松田憲幸（和歌山大学）

【セッションSC2 13:00-15:00】

[13:00-13:40]

43. 発言役割の動的抑制による協調学習の活性化支援
○郷かをり、竹中正幸、田村恭久（上智大学）

[13:40-14:20]

44. CSCLにおける発言主文の明確化による議論支援
○中村諒、竹中正幸、田村恭久（上智大学）

[14:20-15:00]

45. 学習者特性適応型協調スクリプトを活用したCSCLシステムの構築と評価
○高橋秀二（東京工科大学）

【共通：休憩 15:00-15:20】

【セッション S A 3 15:20-16:40】

[15:20-16:00]

46. フロー理論に着目した学習教材・学習環境の再設計支援ツールの評価について
○加藤泰久, 鈴木克明 (熊本大学)

[16:00-16:40]

47. ストーリー型 e ラーニングの魅力向上に関する研究
○柴田喜幸 (熊本大学/産業医科大学)、鈴木克明 (熊本大学)

【セッション S B 3 15:20-16:40】

[15:20-16:00]

48. 光トポグラフィーを用いた Web-Based 英語テストにおける背景色効果についての検証
○山崎敦子 (芝浦工業大学), 松居辰則 (早稲田大学)

[16:00-16:40]

49. 遠隔チュートリアルにおける日本語の学習支援—チューターによる動機づけの観点から
○尹智鉉 (日本大学)

【セッション S C 3 15:20-16:40】

[15:20-16:00]

50. IT 基盤技術者育成のためのクラウドコンピューティング基盤の研究
○横山重俊 (国立情報学研究所), 桑田喜隆 (NTT データ), 吉岡信和 (国立情報学研究所)

[16:00-16:40]

51. ソフトウェア開発 PBL におけるプロジェクトの可視化に基づく適応的な指導の実現
○福安直樹 (和歌山大学), 佐伯幸郎 (高知工科大学), 水谷泰治 (大阪工業大学), 井垣宏, 眞鍋雄貴 (大阪大学)

【懇親会】

開始時刻：17:00

定員：特集研究会と第6回研究会合同で先着50名程度

場所：学内の職員食堂

参加費：4,000円/人

*参加ご希望の方は、E-MAIL : yasutome@is.oit.ac.jp 宛に、

件名：懇親会参加➡

本文：お名前とご所属

の電子メールをお送りください。折り返しこちらから返信致します。



教育システム情報学会 (JSiSE) 2012 年度第 1 回研究会 講演募集
e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント/
医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育/一般

教育システム情報学会 担当：仲林 清，松居辰則，北村士朗，
真嶋由貴恵，加藤泰久，櫻井良樹（研究会委員会）

■テーマ：e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント/
医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育/一般

■開催日：2012 年 5 月 18 日（金）（発表件数により 19 日（土）も開催）

■会 場：放送大学（千葉市美浜区若葉 2-11）

<http://www.ouj.ac.jp/hp/gaiyo/gaiyo06.html>

■主 旨：

本年度第 1 回研究会は、「e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント/
医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育/一般」のテーマで実施いたします。

「e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント」に関しては、e ラーニングを複合的な教育研修メディアと捉える立場から、単なる Web による教材配信にとどまらず、企業や大学における人材開発や組織マネジメントとの連携、学習コンテンツ設計、インストラクショナルデザイン、品質評価、学習者支援、ブレンデッドラーニング、インフォーマルラーニングなどの方法論、e ラーニングツール、システム、実践環境に関する提案・開発・応用など幅広いトピックスに関するご発表を募集いたします。

「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」に関しては、これまで、人を対象とするこの分野には、コンピュータなどの ICT の活用はなじまないとされてきました。しかし、一方では、マルチメディアを活用した e ラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され、ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習、新しい知識の定着、医療・看護技術の習得などで、高い学習効果が得られたことが報告されています。また、医療人育成のために体系化された教育プログラムにこそ e ラーニングや ICT の活用が効果的である、との声も聞かれるようになってきました。そこで本研究会では、医療・看護・福祉分野において求められている高い実践能力をもつ人材の育成やナレッジマネジメント、学習者支援、学習コンテンツの設計、インストラクショナルデザイン、医療サービスの質保証ならびに質評価、e ラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境、著作権処理に関する様々なトピックを扱い、この分野における専門職教育に必要な知識や技能を習得するための ICT 活用教育方法について、議論を進めていきたいと思えます。

その他、教育システムに関する幅広い分野からの発表も歓迎致します。初中等教育、高等教育、企業教育などの分野から、多くの方々の発表をお待ちしております。

なお、一昨年からの新しい試みとして、論文形式の原稿を伴わない発表も受け付けます。各種の実践事例やシステム・製品に関して、気軽に情報提供を行い聴衆の方と意見交換を行いたい方は、ぜひご活用下さい。

★発表にあたってはいくつか注意事項がございますので、次ページをご覧ください。

■発表申込み：※発表申込み締切：2012年3月19日(月)

以下の事項を電子メールにてお送りください。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. 発表概要（100字程度）
4. 連絡先住所・氏名・電子メールアドレス
5. 論文原稿の有無
6. その他（使用機器など）
7. 申込先：
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1
千葉工業大学 情報科学部 情報ネットワーク学科
仲林 清 E-mail: knaka@net.it-chiba.ac.jp

■発表原稿の提出：※発表原稿提出締切：2012年4月9日(月)

上記 5 で、「論文原稿有」を選んだ方は以下の要領で原稿を作成して下さい。

1. 原稿は A4 用紙で、2 枚以上 8 枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿は、学会 Web サイトの研究会開催案内ページの下部に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。
<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/format.html>
3. 原稿送付先
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1
千葉工業大学 情報科学部 情報ネットワーク学科
仲林 清 E-mail: knaka@net.it-chiba.ac.jp
※可能な限り電子メールで送付してください。その場合は、フォント埋め込みされた PDF 形式にて送信下さい。
4. 発表時間は 25 分（発表 20 分、質疑 5 分）を予定しております。

■論文原稿無の方へのお願い：

上記 5 で、「論文原稿無」を選んだ方は以下の要領で発表を準備して下さい。

- ・発表時間は 15 分（予定）です。発表、質疑、意見交換等を自由にアレンジしてください。発表時間は件数によって変更されることがあります。
- ・発表時には必ず資料の配布をお願い致します。形式は任意です。発表時に使用されるパワーポイントを印刷したもの、関連資料、パンフレット等でも結構です。
- ・配布資料は各自で準備をお願いいたします。学会では印刷を致しません。必要な部数は研究会プログラムが確定しましたらご連絡いたします。
- ・資料を事前に会場へ郵送される方は、担当者にご相談ください。
- ・システムや製品のデモンストレーションをしていただいても構いません。この場合も事前に担当者にご相談ください。

■懇親会

研究会終了後、懇親会を開催する予定です。会費は 4～5000 円の予定です。

■お問い合わせ先：

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1
千葉工業大学 情報科学部 情報ネットワーク学科
仲林 清 E-mail: knaka@net.it-chiba.ac.jp

教育システム情報学会(JSiSE) 2011年度第5回研究会 報告

担当：研究会委員 佐々木整/三石大

◆テーマ◆「ネットワークコンピューティングとこれからの教育・学習環境/一般」

2012年1月21日(土)に、「ネットワークコンピューティングとこれからの教育・学習環境/一般」をテーマに、鹿児島大学 郡元キャンパス 情報生体システム工学科を会場として2011年度第5回研究会を開催しました。

62名の参加者のもと2会場に分かれて計23件の研究発表がなされました。今回の研究会では、スマートフォン、クラウドやマルチエージェントなどの最先端の技術を教育に活用する取り組みや、そのための新規技術の開発に関する研究が報告されるとともに、各研究の発表時には、発表者と聴衆者との間で活発な議論が交わされるなど、大変盛況で、有意義な研究会となりました。また今回の研究会は鹿児島での開催でしたが、全国各地の大学、企業からも多数の参加があり、本学会の活動を外部にPRする効果も多分にあったものと思われます。

最後に、ご発表を頂いた皆様、熱心なご議論に参加頂いた方々、ならびに会場のお世話を頂きました小野智司先生をはじめとする鹿児島大学の皆様、研究会のPR等々本研究会を支えて頂きましたご関係各位に、この場を借りて御礼申し上げます。

■開催日時：2012年1月21日(土) 10:00-16:35

■会場：鹿児島大学 郡元キャンパス 情報生体システム工学科棟1階 71号・72号教室

■プログラム

開会挨拶：10:00-10:05 (72号教室) 第5回研究会担当 佐々木 整 (拓殖大学)

○第1会場 (71号教室)

【セッション1】10:05-11:45 座長：大河 雄一 (東北大学)

1. 算数困難児を対象とする学習用教材と支援システムの開発

○池守 樹、松永信介、稲葉竹俊(東京工科大学大学院)、濱田豊彦(東京学芸大学)

2. 聴覚障害者のためのアンドロイドモバイル端末を用いた学年別ルビ付き逐次文字提示システム

○小林正幸、三好茂樹、石原保志(筑波技術大学)

3. 読みを付与するWeb読解支援システムを利用した授業支援の試み

○溝渕昭二(近畿大学)、安藤一秋(香川大学)、越智洋司(近畿大学)

4. CLIP(Cloud and Learning Information Platform)の開発

○清水英典(玉川大学)

=== 昼休憩 (11:45-13:00) ===

【セッション2】13:00-14:40 座長：越智 洋司 (近畿大学)

5. 授業ストーリーミングビデオの時間軸に沿った学習者の注目度を推定する手法の検討

○浅羽修丈(北九州市立大学)、三石 大(東北大学)、大河雄一(東北大学大学院)、斐品正照(東京国際大学)

6. 作業録画システムを用いたe-Learning本人確認の運用

○高橋 勇(北里大学)

7. 拡張性を有する学習支援システムアーキテクチャの現状と応用

○仲林 清(千葉工業大学・熊本大学)、森本容介・青木久美子(放送大学)

8. 学習履歴可視化による分析とその医学教育への応用

○小柏香穂理(山口大学)、浜本義彦(山口大学大学院)

=== 休憩 (14:40-14:50) ===

【セッション3】14:50-16:30 座長：仲林 清 (千葉工業大学)

9. 学級のいじめ問題に関するマルチエージェントシミュレーション

○宮田 健・山口真之介・大西淑雅(九州工業大学)、津森伸一(近畿大学九州短期大学)、佐藤直樹・西野和典(九州工業大学)

10. 携帯情報端末に記憶された私的な情報を用いた分散最適化と教育現場への応用

○女鹿野大志・小野智司・中山 茂 (鹿児島大学)

11. バージョン管理システムGitのWebベースインタフェースの開発

○横山裕一(香川大学大学院)、香川考司(香川大学)

12. ソースコードの履歴を用いた学習者のデバッグ過程の分析

○杉山 裕(拓殖大学大学院)、蓑原 隆(拓殖大学)

閉会挨拶 16:30-16:35 小野 智司 (鹿児島大学)

○第2会場（72号教室）

【セッション1】10:05-11:45 座長：西野 和典（九州工業大学）

13. 学習目標と関連付いたブックマークと学習過程を共有するウェブ調べ学習環境の提案
○芳沢将宏(高知大学大学院)、三好康夫(高知大学)、田所 亮(高知大学大学院)、金西計英(徳島大学)
14. 研究活動を支援するイノベティブなコミュニティ形成の要因調査
○根本淳子・竹岡篤永・井ノ上憲司・久保田真一郎(熊本大学大学院)、柴田喜幸(熊本大学大学院・産業医科大学)、鈴木克明(熊本大学)
15. ハイパー学習空間の構築による知識洗練化支援
○成田幸紀・岡本 竜(高知大学)
16. アノテーションを共有するクラウド環境上のシステムを用いた協働学習の効果
○松本 哲(神戸大学)、堀出雅人・西之園晴夫(NPO 法人 学習開発研究所)

=== 昼休憩（11:45-13:00） ===

【セッション2】13:00-14:40 座長：水野 一徳（拓殖大学）

17. 作問演習において理解度向上を支援する作問手順の提案
○小谷篤司(創価大学院)、高木正則(岩手県立大学)、望月雅光・勅使河原可海(創価大学)
18. Moodleにおける穴埋め問題支援ツール作成と検討について
○五月女仁子(神奈川大学)
19. 概念空間を用いた択一式テストにおける難易度の項目応答理論による評価
○山下貴志・山口真之介・大西淑雅(九州工業大学)
津森伸一(近畿大学九州短期大学)、西野和典(九州工業大学)
20. eポートフォリオにおけるタスクを用いた学習評価方法の提案
○寺村 将(創価大学大学院)、望月雅光(創価大学)、勅使河原可海(創価大学大学院)

=== 休憩（14:40-14:50） ===

【セッション3】14:50-16:30 座長：根本 淳子（熊本大学）

21. ICT利用環境に関する諸問題（2）－ICTと教育－
○金山茂雄(拓殖大学)、窪田健一(静岡英和学院大学)
22. MIDI楽器の演奏情報を用いた楽曲検索システムの検討
○菊田明日香・大津直貴・鷹野孝典(神奈川工科大学)
23. Android OS 上での俳句アプリケーションの開発
○高田伸彦(金沢学院大学)、鈴木雅実(KDDI研究所)、柳澤良一・浅見健司(金沢学院大学)

■□■□■□■JSiSE 2011年度 研究会年間予定表■□■□■□■

日 時	テ ー マ / 会 場	担 当
第6回研究会 2012年3月17日(土)	テーマ：情報教育と社会人基礎力／一般 会 場：大阪工業大学 枚方キャンパス	松永, 西野, 西端
特集論文研究会 2012年3月17日(土)	テーマ：ICTの高度化による先進的学習支援に向けて -技術と人間の共生を目指して- 会 場：大阪工業大学 枚方キャンパス	小西, 松居, 林

■□■□■□■JSiSE 2012 年度 研究会年間予定表■□■□■□■

日 時	テ ー マ / 会 場	担 当
第 1 回研究会 日 程： 2012 年 5 月 18 日(金) (発表件数により 19 日(土)も開催)	場 所：放送大学 テ ー マ： e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント/ 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般	仲林 清 真嶋由貴恵 松居辰則 加藤泰久 北村士朗 櫻井良樹
第 2 回研究会 日 程： 2012 年 7 月 14 日(土)予定 (調整中)	場 所：北海道大学 テ ー マ： ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般	小松川浩 野崎浩成 布施 泉 不破 泰
第 3 回研究会 日 程： 2012 年 9 月 8 日 (土)	場 所：香川大学 幸町キャンパス研究交流棟 (予定) テ ー マ： 続^2・教育機関等連携を支援する 教育システムの設計・構築・運用／一般	林 敏浩 小西達裕 安間文彦
第 4 回研究会 日 程： 2012 年 11 月 10 日 (土)	場 所：和歌山大学 テ ー マ： スキル学習とその支援技術／一般	曾我真人 柏原昭博 小尻智子 長谷川忍
第 5 回研究会 日 程： 2013 年 1 月 12 日 (土)	場 所：東北大学 テ ー マ： ネットワークコンピューティングと これからの教育・学習環境／一般	佐々木整 三石 大 妻鳥貴彦
第 6 回研究会 日 程： 2013 年 3 月 16 日 (土)	場 所：山口大学 (吉田キャンパス) テ ー マ： 教育の情報化と情報教育／一般	松永公廣 西野和典 西端律子 鷹岡 亮

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。
この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000円／年6回発行<送料込>

◆◇ 研究報告バックナンバーのお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまで
お申し込みください。1部1,300円(送料共)です。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp

URL : http://maf.mycom.co.jp

論文特集 Call For Paper (Ver. 2.0)
ICT の高度化による先進的学習支援に向けて
-技術と人間の共生を目指して-

ICT (Information Communication Technology) の高度化により、学習・教育におけるコンピュータ利用の方法や形態にも新たな可能性が生まれてきています。高機能化、小型化(携帯化)された PC、高速なネットワークやモバイル環境、様々なセンサーを用いた詳細な行動データの取得技術などを応用することにより、従来ではなし得なかった新しい学習・教育支援が可能になり、様々なシステムやコンテンツの開発、ユニークな実践が数多く報告されています。一方、技術の高度化において人間がその恩恵を正当に受けて豊かな環境を構築するためには「人間中心」、「人間と技術の共生」という視点が今まで以上に重要になってきます。そこで、本論文特集では、技術による学習・教育支援の中で、「メタ認知、スキルサイエンス、Affective Learning」をキーワードにして、ICT の高度化による先進的な学習支援(人間中心、技術と人間の共生)に関する挑戦的、未来志向の研究・開発・実践に関する論文を募集いたします。これらの分野に関する多種多様な対象と方法論の知見を共有することにより、この分野の更なる発展と現実世界への貢献の可能性を探ります。

1. 対象分野

「ICT の高度化」、「メタ認知、スキルサイエンス、Affective Learning」をキーワードにしておりますが、「先進的な学習支援(人間中心、人間と技術の共生)」を志向した理論・技術(システム開発、コンテンツ開発を含む)・実践に関する論文を広く募集します。例えば、次のようなテーマが想定されます。先進的学習支援のための学習者モデル・教授戦略、センサー・計測機器を用いた学習者の行動情報による評価方法や心理状態の推定手法・推定モデル(メンタリング、Affective Learning)、学習スキルの分析と学習支援、スキル(身体性を伴う行動や知識)の獲得支援とコンテンツ開発、学習者の心理状態推定のための知識記述・管理手法(オントロジー)、メタ認知モデルに基づいた教材開発や実践、新しい評価方法 など。

2. 論文種別

すべての種別の論文(原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報)を募集します。なお、査読結果により、投稿時とは異なる種別での採録となる場合もあります。また、特集号編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱う場合もあります。なお、本特集号では美濃導彦先生(京都大学)、平嶋宗先生(広島大学)による招待論文(依頼論文)を掲載します。

3. 投稿要領

一般の論文投稿規定(教育システム情報学会学会誌執筆規定)に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。以下、Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- すべての方へ: 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集研究会(2012年3月17日(土) 於;大阪工業大学(枚方キャンパス))で発表を行った方へ: 投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

4. スケジュール

投稿原稿〆切: 2012年4月27日(金)

掲載予定巻号: 2013年1月1日発行予定の学会誌 (Vol.30, No.1)

5. 特集号編集委員会

委員長: 仲林清(千葉工業大学) 副委員長: 松居辰則(早稲田大学)、小西達裕(静岡大学)

特集幹事: 林雄介(名古屋大学)、小島一晃(早稲田大学)

委員: 学会誌編集委員+特集編集委員(大西仁(放送大学)、井上智雄(筑波大学)、椋木雅之(京都大学))

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ:
特集号編集委員会幹事 林 雄介(名古屋大学 E-mail: hay@icts.nagoya-u.ac.jp)
- Web 投稿に関する問い合わせ:
教育システム情報学会編集事務局(電話: 03-5389-6492 E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献印刷社 長澤

Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 11

The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 11

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published *The Journal of Information and Systems in Education* annually since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for volume 11 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information technology (IT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of IT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that “e-learning” frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

The Journal of Information and Systems in Education aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

Scope:

The topics of papers includes, but are not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

Important Dates:

The first submission deadline: March 31, 2012

The second submission deadline: June 6, 2012

Instructions for Authors:

Please refer to the “Authors Instruction” in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.

http://www.jsise.org/e_journal/ejournal.html

Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:

https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal_e/applicant/login.html

Publication:

Vol. 11 will be published on the J-STAGE Web site (<http://www.jstage.jst.go.jp/>).

Accepted papers will appear in the journal immediately after their acceptance.

The paper journal will be published in February 2013. (tentative)

Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office

E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新着情報 4 件

- 2012 年 11 月開催
 - ICCE 2012: The 20th International Conference on Computers in Education
開催期間: November 26-30, 2012
開催地 : Singapore, Singapore
URL : <http://apsce.net/>
論文投稿スケジュール :
- 2012 年 10 月開催
 - ECEL-2012: 11th European Conference on e-Learning
開催期間: October 26-27, 2012
開催地 : Groningen, The Netherlands
URL : <http://academic-conferences.org/ecel/ecel2012/ecel12-call-papers.htm>
論文投稿スケジュール :
Abstract submission deadline: April 7, 2012
Full paper due for review: May 26, 2012
- 2012 年 7 月開催
 - IADIS International Conference e-learning 2012
開催期間: July 17-20, 2012
開催地 : Lisbon, Portugal
URL : <http://www.elearning-conf.org/>
論文投稿スケジュール : Submission Deadline: January 23, 2012
- 2012 年 6 月開催
 - ITHET2012: IEEE 11th International Conference on Information Technology Based Higher Education and Training
開催期間: June 21 - 23, 2012
開催地 : Istanbul, Turkey
URL : <http://www.ithet.boun.edu.tr/>
論文投稿スケジュール :
Deadline for electronic submission of one page abstracts: March 31, 2012
Notification of acceptance: May 5, 2012
Submission of full papers: June 2, 2012

再掲情報 5件

- 2012年10月開催
 - E-LEARN 2012
開催期間 : October 9-12, 2012
開催地 : Montreal, Quebec, Canada
URL : <http://www.aace.org/conf/elearn/>
論文投稿スケジュール : Call for Participation: Due May 25th, 2012
- 2012年9月開催
 - KES 2012: 16th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems
開催期間 : September 10 - 12, 2012
開催地 : San Sebastian, Spain
URL : <http://kes2012.kesinternational.org/>
論文投稿スケジュール : Submission of papers: March 1, 2012
- 2012年7月開催
 - 11th UMAP 2011: The 20th conference on User Modeling, Adaptation, and Personalization
開催期間 : July 16-20, 2012
開催地 : Montreal, Canada
URL : <http://umap2012.polymtl.ca/en/>
論文投稿スケジュール :
Research and Industry papers abstracts: January 17, 2012
Research and Industry full papers: January 24, 2012
- 2012年6月開催
 - EdMedia 2012
開催期間 : June 26 - 29, 2012
開催地 : Denver, CO, USA
URL : <http://www.aace.org/conf/edmedia/>
論文投稿スケジュール : Call for Presentations: December 12, 2011
 - 11th International Conference on Intelligent Tutoring Systems
開催期間 : June 14 - 18, 2012
開催地 : Crete, Greece
URL : <http://its2012.teicrete.gr/>
論文投稿スケジュール : Call for papers: January 23, 2012

新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。

○新入会正会員・準会員 (敬称略)

2011/12～2012/1

会員番号	名前	所属機関	推薦者	会員種別
JSiSE-A1103129	松田暁洋	武修館中学高等学校		正会員
JSiSE-A1103130	立野貴之	岡山県立大学大学院		準会員
JSiSE-A1103131	加藤泰久	N T Tラーニングシステムズ(株)		正会員
JSiSE-A1103132	林 康弘	千歳科学技術大学	小松川浩	正会員
JSiSE-A1103133	森田英輔	自然科学研究機構国立天文台		準会員
JSiSE-A1103134	長田智和	琉球大学	谷口祐治	正会員
JSiSE-A1103135	合田和正	九州情報大学	西野和典	正会員
JSiSE-A1103136	池田瑞穂	関西学院大学		正会員
JSiSE-A1103137	有馬利加子	鹿児島女子短期大学		正会員
			正会員	7
			準会員	2

★☆☆年会費納付のお願い☆☆★

2011年度年会費/2010年以前の年会費の未納につきまして、納付期限を、2011年8月末とさせていただきます。まだご入金いただけていない会員の方は、至急お納めください。未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、未納が3年度分を過ぎますと、規約により除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願ひ致します。詳しくは、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

JSiSE 事務局 E-mail : secretariat@jsise.org

※2012年度年会費につきましては、2月末日の発送を予定しております。

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、変更届を事務局までご連絡ください。
ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎振込先◎

◎年会費のご案内◎

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 銀行名 : ゆうちょ銀行 支店名 : 019 店 ■ 当座預金 : 0709632 ※ 電信振替 : 00180-6-709632 ■ 口座名義 : 教育システム情報学会 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 正会員 : 7,000 円 ■ 準会員 : 4,000 円 ■ 企業・団体会員 : 50,000 円 ■ 研究報告年間購読 : 4,000 円 ■ 入会金 : 1,000 円 (初年度のみ) |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 銀行名 : 池田泉州銀行 支店名 : 上新庄支店 ■ 普通預金 : 13440 ■ 口座名義 : 教育システム情報学会 家本 修 | |

■□■北海道大学情報基盤センター教授公募のお知らせ■□■

- 1) 募集人員：教授 1名 常勤（任期なし）
- 2) 専門分野：特に、デジタルコンテンツの作成、利用、流通（国際的あるいは地域的）に関する先進的な研究を推進できる方
- 3) 任 務：デジタルコンテンツ研究部門において専門分野の研究従事、大学院教育・全学教育科目担当、情報基盤センターの運営等関連業務
- 4) 応募資格：次の要件をすべて満たす者
 - (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有する。
 - (2) デジタルコンテンツに関する研究の実績を有する。
 - (3) 学会活動等社会貢献活動の実績を有する。
 - (4) 大学院博士課程における教育・研究指導の実績を有する。
- 5) 着任時期：平成24年10月1日採用予定
- 6) 提出書類：履歴書、業績リストほか
※詳細は下記のWebページ掲載の正式公募文書を参照
- 7) 応募締切：平成24年4月16日（月）必着
- 8) 送付先：〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西5丁目
北海道大学情報環境推進本部情報推進課総務企画担当 Tel：011-706-2923
「デジタルコンテンツ研究部門教授応募書類在中」と朱書きし、簡易書留
- 9) その他：北海道大学情報基盤センターについては、本センターホームページを参照
<http://www.iic.hokudai.ac.jp/>

■□■信州大学総合情報センターにおける教員（助教）公募のお知らせ■□■

- 1) 募集職種：助教
- 2) 募集人員：2名（総合情報センター）
- 3) 専門分野：信州大学の情報化、情報戦略、情報システム、ネットワークシステム等を担う総合情報センターにおいて、研究開発業務を担当する以下のa,b1名ずつを募集する。
 - a. 広域ネットワーク、分散システムに関して構築・運用を主として担当し、開発・研究ができる方。
 - b. 教育基盤システム(LMS)、クラウドシステムに関して構築・運用を主として担当し、開発・研究ができる方
- 4) 応募資格：大学院修士課程修了またはこれに相当する教育・研究歴を有し、当該専門分野で業績があり、大学の教育及び学生指導に熱意があり、学術研究に意欲があること。
- 5) 着任時期：平成24年6月1日、またはそれ以降のできるだけ早い時期
- 6) 提出書類：(1) 希望審査区分(2)履歴書(3)健康診断書(4)研究・開発業績目録(5)主要論文別刷り(6)上記専門分野に関するこれまでの具体的な実績(7)総合情報センターでの活動に関する抱負(8)応募者について紹介・参考意見を述べることのできる方2名の氏名、所属、連絡先
- 7) 応募締切：平成24年3月30日 必着
- 8) 送付先：〒390-8621 松本市旭3-1-1 信州大学総合情報センター
- 9) 照会先等：総合情報センター長 教授 不破 泰 e-mail：fuwa@shinshu-u.ac.jp
- 10) その他：詳細はWebページをご覧ください。
： <http://www.shinshu-u.ac.jp/recruit/2012/01/246124330.html>

=====
2012年度 JSiSE 第37回 全国大会のご案内
=====

大会テーマ：

「知と学びの絆：教育システム技術でつなぐ人と社会」

■開催日：2012年8月22日（水）～24日（金）

■場 所：千葉工業大学 芝園キャンパス

JR 京葉線新習志野駅南口下車 徒歩6分（東京駅から31分）

<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/shibazono.html>



宿泊に関する注意：

大会期間中、幕張メッセで大規模な展示会が開催され、近隣ホテルの混雑が予想されます。早めの予約をお勧めします。

楽天トラベル (<http://travel.rakuten.co.jp/>) などで「JR 京葉線」沿線の各駅（東京・八丁堀・潮見・新木場・舞浜・新浦安・海浜幕張・稲毛海岸・千葉みなと・蘇我）のホテルの検索・予約が可能です。

=====
新 入 会 員 募 集
=====

教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌やニューズレター、研究報告書などがお手許に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会Webページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので（PDFファイル）ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAXか、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈**させて頂くというキャンペーンを行っております。こちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

■学会事務局宛■

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号

教育システム情報学会事務局 宛

TEL/FAX 06-6324-7767 Email: secretariat@jsise.org